

平成30年度第2回豊明市地域福祉計画推進委員会

豊明市いのち支える自殺対策推進本部 議事録

平成31年1月30日（水）

午後14時00分から

豊明市役所 東館3階 政策審議室

1 あいさつ

委員長よりあいさつ。11月に行われた第1回会議の内容を確認。

2 議事

(1) 第1期豊明市地域福祉計画のまとめについて

事務局より現在の計画のまとめとして計画書17ページの7つの課題、18ページの3つの視点、20ページの4つの柱について説明。また、事業評価と推進体制として本委員会で事業評価を行っている点について確認。

次期計画への視点として新たなる社会課題と内容面・体制面でどのように対応していくか、4点の具体的対応を基に方向性を提示する。

委員より下記の質問や意見をいただきました。

Q. 8050問題はよく聞くけど具体的にはどのような問題ですか。

A. 80代の親に50代の独身の子どもという家庭をイメージしており、親が元気な時は潜在化しているが病気等で支援が必要になった時に親の介護や子どもの引きこもり等の複合化した課題が表面化する問題です。

(委員より) 8050問題の背景として核家族化があります。昔は大家族で家族の中の支えあいでも解決できていた問題が核家族化で構成が変わったことが根底にあると思っています。

Q. ひきこもり支援について、昔から小中学校の不登校が問題としてありますがターゲットはそのような不登校の児童を考えていますか。

A. 不登校の児童もひきこもり支援として必要ですが、「成人」のひきこもりを対象と考えております。成人のひきこもりは就職できなかった、仕事についていても退職した等の様々なタイミングがあり、長期化しやすい点が問題としてあります。ひきこもる入り口で把握し早期の支援が望まれるのですが、把握が難しい点が課題としてあげられます。

(2) 第2期豊明市地域福祉計画の策定について

事務局より第2期計画の目的、位置づけ、策定体制と策定までの流れ、現段階の構成案について説明。

委員より下記の質問をいただきました。

Q. アンケート案はもうできていますか。また、対象といつ頃の発送を
考えていますか。

A. まだ現段階ではアンケートはできていません。4月にプロポーザルを
行い、コンサルタントと共に作成し、皆さまにご意見をいただきたく思
います。対象については前回18歳以上2,000名を対象としていた
のでその数字を基に再度検討していきます。

Q. もし現段階で策定までのスケジュールができていたら提示いただきた
いです。

A. 現段階でのスケジュールについて口頭で説明。

4月 プロポーザル実施、アンケート案作成。策定委員会にて確認後発送

9月 策定委員会開催。アンケート分析結果提示、計画骨子の提示

12月 策定委員会開催。計画書素案提示

2月 パブリックコメント公募

3月 策定委員会開催。計画書案、概要版の案を提示

次回4月の策定委員会にて年間スケジュールについても説明させていた
だきます。

(1)(2)の議題について委員より異議なしとして了承される。

(3) 豊明市いのち支える計画(自殺対策計画)の素案について

事務局より計画策定経緯、策定の組織体制、計画書素案(名称、サブ
タイトル、各章の内容、ゲートキーパー養成等の今後の取り組み)につ
いて説明。

委員より下記の質問や意見をいただきました。

Q. 目標の数値として7人となっているが7人までは自殺してもよいとと
らえられる。理念、理想として目標は0人とすべきではないのか。

A. 国、県の指標として現在の目標の数値をあげる必要があったため7人
という数字を掲載したが、理想として0人なのは間違いありません。計画
の中に「理念としては0人」というような考えを加えていきたいと思いま
す。

- ・自殺という単語がメディアに出すぎていると思う。自分も悩んでいる時に「これだけメディアに出ているなら自分も～」と思えてしまった。その時は夫から声をかけてもらい、気持ちが変わったことがあった。だからこそ身近な存在としてゲートキーパーがいるというのはとても大事だと思う。悩んでいる方に気付いてあげられるような体制の推進をしていただきたい。
- ・ゲートキーパーの講座については市役所職員だけでなく、社会福祉協議会の職員も対象に含めて開催していただきたい。
- ・自殺の問題は個人の問題ととられがちだがそれを社会全体の問題として取り組むのは評価したい。

3 その他

次回は4月に開催予定。会議内容は、

- ・「豊明市いのち支える計画書」の完成品をお渡しする。
- ・年間スケジュールの提示
- ・地域福祉計画アンケート案の提示の予定。